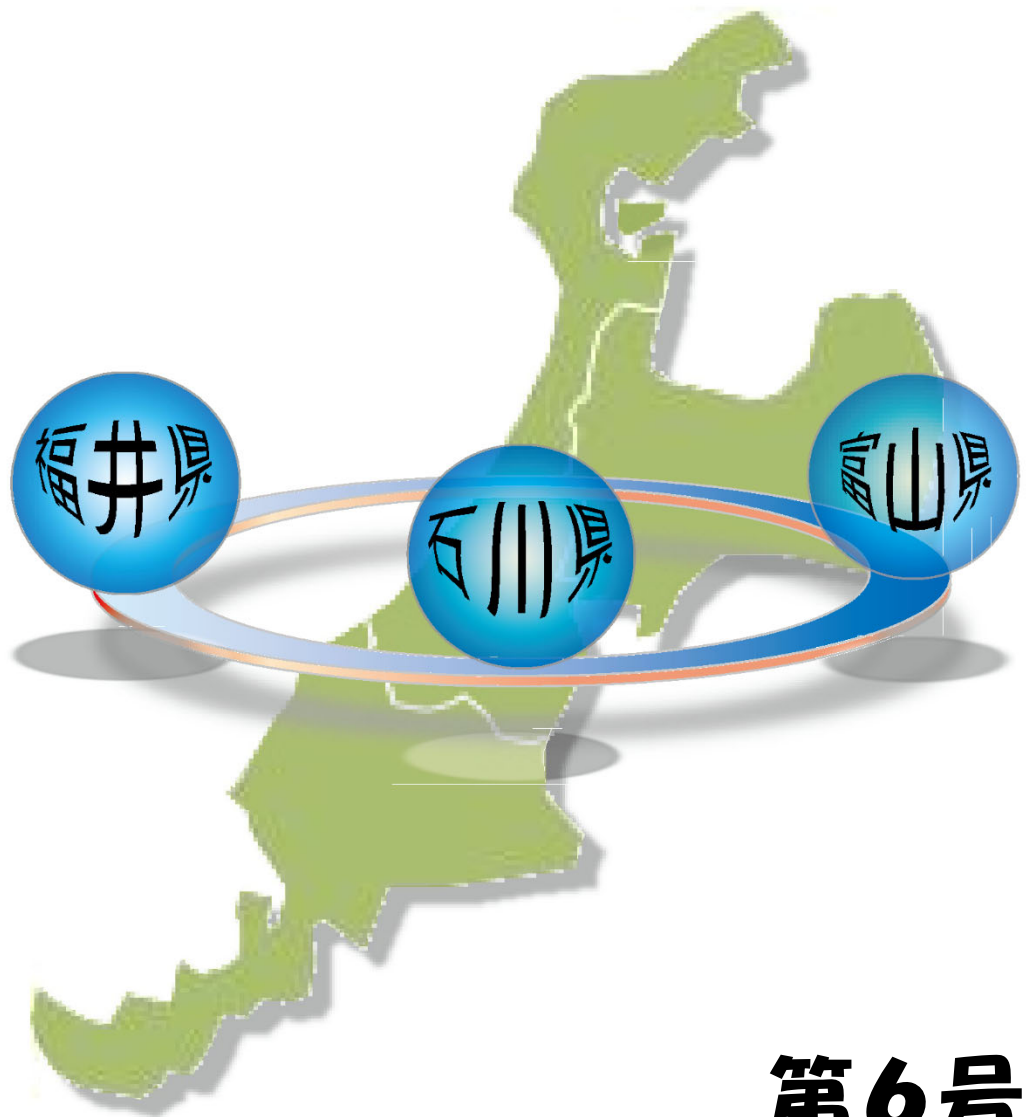


懇談会会報



第6号

北陸技術士懇談会

【事務局】 ㈱日本海コンサルタント 内	〒921-8042	金沢市泉本町2丁目126番地	TEL 076-243-8390
【石川事務所】 ㈱ホクコク地水 内	〒921-8021	金沢市御影町25-1番地	TEL 076-241-7158
【福井事務所】 丸一調査設計㈱ 内	〒910-0841	福井市開発町20-6番地	TEL 0776-52-8405
【富山事務所】 ㈱アーキジオ 内	〒933-0824	高岡市西藤平蔵581番地	TEL 0766-63-8852

目 次

1. はじめに
2. 平成 30 年度総会・特別講演会報告
3. 平成 30 年度技術研修会報告
4. 平成 30 年度技術講演会報告
5. 平成 30 年度合格祝賀会報告
6. 令和元年度（2019 年度）役員名簿
7. 令和元年度（2019 年度）行事予定

1. はじめに

会員の皆様、日頃より北陸技術士懇談会の活動にご理解、協力を賜りありがとうございます。この会は、今年ついに設立 50 周年を迎えます。記念事業として、記念講演会、記念式典および記念誌の発行等を企画しています。記念誌には半世紀の様々な出来事、思い出が盛り込まれるものと期待しています。過去を顧みることが、これからの活動の方向性を探る良い手がかりを得ることにつながるものと思います。是非とも、50 周年事業へのご協力と行事等への積極的な参加をお願い致します。

平成 30 年の漢字が「災」となるとおり去年は自然災害で明け暮れた 1 年でした。北陸の豪雪災害に始まり、大阪府北部地震、平成 30 年 7 月豪雨、災害級の猛暑、北海道胆振東部地震、そして台風 21 号の北陸直撃など。とくに平成 30 年 7 月豪雨では西日本で 200 人を超える犠牲者が出ました。平成 26 年 8 月の広島豪雨災害の教訓を踏まえ、国、県、市町では様々なハード、ソフト両面の取り組みが進められてきたにも拘らず多くの犠牲者が出てしまいました。避難勧告に応じる住民があまりにも少ないことが多くの犠牲者を出した原因ではないかと言われています。「ハード対策」、「ソフト対策」に加え、速やかな避難行動につなげる「マインド対策」、すなわち正しい危機意識を持ち、私は大丈夫だろう、という「正常化の偏見」を消し去るための防災教育を展開していく必要性を感じます。

さて、平成 31 年の冬は今年の豪雪とは打って変わり、非常に雪の少ない冬でした。除雪体制を見直し、腕によりをかけて大雪に備えていた鉄道、道路関係者にはうれしい誤算といったところでしょうか。一方、雪景色を期待して北陸を訪れた観光客がガッカリしていた、という話が漏れ聞こえてきました。「災害は忘れたころにやってくる」、と言われる。いやいや、近年の状況を見ていると、「災害はあちこちでしょっちゅう起こってる」、といった方が、的を射ているように思われます。どうか日頃の備えを怠りなく。

もうすぐ、平成から令和の時代が変わります。戦争の無い平和な時代となること、そして自然災害に強い国づくりが大きく進む時代となること、そして皆様のご多幸を祈念したいと思います。

北陸技術士懇談会 副会長 今度 充之

2. 平成 30 年度総会・特別講演会報告

平成 30 年度 北陸技術士懇談会の総会・特別講演会を平成 30 年 6 月 2 日（土）、金沢勤労者プラザ 3 F 研修室で行いました。

■総会

総会議事では①平成 29 年度決算、②平成 30 年度予算、③平成 30 年度年間スケジュール、④役員改選、⑤その他報告と進められ、いずれも原案通り可決されました。また、新役員として、会長に橋本栄治氏（福井）、副会長に大石守仁氏（富山）、理事に西出俊亮氏（福井）、野口将志氏（石川）、監事に庄田浩二氏、相談役に有澤良一氏が承認されました。

なお、総会出席者は 56 人、講演会は 83 人、交流会は 47 人でした。

【定例総会 有澤良一会長の挨拶】



■総会特別講演会

演題 1：「白山の歴史と魅力」

一般財団法人 白山観光協会 専務理事

元白峰村村長 永井 隆一 氏



(1) 白山観光協会の歴史

白山観光協会は歴史が古く、前身の白山振興会は大正 10 年に設立された。昭和 23 年に財団法人になり今年で 70 年を迎えた。平成 29 年は、白山嶺上本社が奥宮と改称されて 140 年、泰澄大師による白山開山より 1300 年の節目であった。

(2) 日本全国の白山、世界の白山・白山

日本には白山という名前の付いた山が 26 と多くあり、世界では、中国と北朝鮮の国境にある太白山の他、キリマンジャロ、マウナ・ケア、モン・ブラン、ダウラギリがある。

(3) 白山の花

白山は、ハクサンの名前が付いた高山植物が多い。ハクサンが付いていないのは、オヤマリンドウとゴゼンタチバナがあるが、これは、白山を御山と言ったり、白山に御前峰があるので、一応、白山にちなんだ名前とすると 20 種類ということになる。

(4) 白山にまつわる略年表

養老元年（717）に泰澄が白山を開山した。養老 4 年（720）、『日本書紀』に白山比咩神社の神様である菊理姫の記載がある。延元元年（1336）に足利尊

氏が岐阜県の白山長瀧時に祈願とある。元龜 2 年 (1571) に織田信長が石徹白白山中居神社に鰐口を寄進している。徳川家康が毛利輝元を関ヶ原の合戦で抱き込むときに誓約書を交わしているが、そこには白山長瀧寺の判子が押してある。一方、1500 年代には、結構噴火の記録がみられる。

(5) 白山信仰の始まり

白山には二つの信仰が存在していた。一つは、神の聖域として遠くから眺めて神秘を感じ、山の神に感謝をささげる「遥拝」。もう一つが、白山は独立峰で、日本海側を航行する船にとっては目印ということで、漁師に信仰されている。

(6) 白山かんこ踊り

白山かんこ踊りというのは、泰澄大師が白山を開山して下山してきたときに、村民が喜んで踊りだしたのが始めと言われている。代表的な歌詞に「白山山の雷の鳥」、これは、ライチョウのことである。昔、やはりライチョウがいたということである。白山のライチョウが絶滅したのは、人が捕ったと言われているが、ライチョウの羽は、火事よけや災害よけのお守りとして売られていたそうである。

(7) 昭和 9 年手取川大水害と砂防工事

別当大崩れは、昭和 9 年の大水害の時に大崩壊した場所である。手取川大水害では、112 名の死者、行方不明者が出ている。

白山の甚之助谷の階段状堰堤群は、土木遺産として、国の登録有形文化財に指定されている。中飯場は、日本で初めて無人化クレーンで施工した。

演題 2 : 「ランドスケープアーキテクトの目」

金沢美術工芸大学 環境デザイン専攻 教授 鏑 隆弘 氏



鏑隆弘氏の講演

(1) ランドスケープアーキテクチャーとは

この職能が出来たのは、160~170 年前、アメリカのニューヨークにあるセントラルパークという大きな公園を設計したオルムステッドという人が作った言葉である。

ランドスケープアーキテクチャーが扱う分野は、自然と人為のつなぎ方とか、関わり方をデザインする、あるいは造り方の分野である。

(2) デザインとは

デザインとは、何か装飾的なものを作り出すというイメージがあると思うが、言葉自体は、「線を引く」とか「描く」という意味である。装飾を作ることが本質ではなく、伝えるということである。それは二つあり、一番目は、「わかりにくいものをわかりやすく伝える」、二番目は、「少し先の未来の形を見せる」ということである。

デザインの伝え方にも二つあって、一つは物として伝える。例えば、時計やペンなど、格好良さとか所有することの満足感や優越感を持つということ。もう一つは、体験価値で、例えば、20 年前、携帯電話が普及し始めたころは、携帯電話の形にこだわっていて、クリックしたら開くとか、色がどうだとか、日本でも何社も作っていた。しかし、スマホになって、形にこだわって買う人はいなくなった。スマホで何が体験できるかが価値となっている。物を使って体験できる楽しい時間に価値がある。

(3) 借景

借景とは、例えば、寺とか眺める場所があって、眺める対象として山がある。それから、近くに庭園があり、庭園の境に生垣、あるいは塀があって、不可視領域という見えない場所がある。これらがセットでないと借景とは言わない。

また、大体東向きである。東向きだと午前中は、東から日が昇って、手前の庭が照らされる。遠くの山は、逆光で割とシャドウで見ることになる。昼は、近くも遠いところも照らされて、同じようなトーンに見える。そして、夕方は、西側から日があたって山が赤く染まる。借景の中で最も奥行きが感じられる眺めとなる。

(4) 侘び寂び

庭が仕上がったときは、実は、完成ではない。それから何年かして、木の育ちとか、石の苔のむし方とか、ちょうどいいバランスが一瞬だけ来る。そのバランスがちょっとでも狂うとクオリティが下がって、また違うバランスでいい時が来る。

一番いい時の形があって、常にそれは形を変えており、徐々にクライマックスに向かって良くなるときが侘び、そして、クライマックスを過ぎてだんだん変わっていくのが寂びと理解するとわかりやすい。

■交流会

総会及び特別講演会后、金沢勤労者プラザ 1F のレストランで、講師を囲んで交流会を行った。今度副会長の挨拶・乾杯の後、講師との懇談の他、会員同士お互いの近況を語り合い、異業種交流にも花が咲き会員同士の交流が活発に行われ盛会であった。

和気あいあいのうちに時間が瞬く間に過ぎ終了の時間となり、大石副会長の音頭で中締めの後、散会となった。

【交流会 乾杯の一コマ】



文責：石川 埒 正浩

3. 平成 30 年度技術研修会報告

第1回研修会が平成30年10月27日（土）、金沢勤労者プラザにて会員46名の参加の下開催されました。

研修会に先立って、橋本会長からの挨拶では、来年は北陸技術士懇談会が節目の設立50周年を迎え、記念事業を実施してまいりたい、会員皆様の協力を呼びかけるお話がありました。

■技術研修会の内容

講演1：「ごみ処理の移り変わりとクローズド処分場『環境の杜』整備」

北村 正樹氏：(株)日本海コンサルタント

社会事業本部地域環境部 担当G長

(1) 日本の廃棄物処理の歴史と現状

幕末から明治時代には、排出者が自己処理か、民間処理業者が収集し、道端や空き地に投棄され、不衛生な状態で堆積していた。また、人と物の交流が活発化され、さまざまな伝染病が流行した。戦後復興時には、急増する都市のごみへの対応に行き詰まりが生じた。高度経済成長期には消費増大や生産活動の拡大、未焼却の可燃ごみを直接埋立、最終処分場の残余容量が減少となった。バブル期において、大量消費社会の経済システムから循環型社会へ、各種法整備を推進した。

時代とともに変化してきた廃棄物の課題に対して、適正な廃棄物処理と資源の有効活用を推進、循環型社会を着実に構築していく必要がある。

【北村講師のご講演】



(2) これからの廃棄物処理

今後、少子高齢化に伴う人口減少により、将来的に廃棄物量は減少していく中、ごみ処理施設の稼働率低下と処理費の高騰が問題となる。また、在宅医療廃棄物の適正処理、介護用おむつの処理、高齢者の社会的孤立でのごみ屋敷増加が問題となる。高齢者のごみ出し支援制度、福祉部局との協働、地域の共助が必要となる。さらに、天然資源投入の抑制やリデュース・リユースへの転換が必要となる。

(3) 県内で2つ目の屋根付き最終処分場の設計

白山市小川町に一般廃棄物最終処分場を設計した。埋立容量：約3万m³、建築構造：地下部は鉄筋コンクリート造、地上部は鉄骨造である。地域特性として、地下水位は浅く現地盤下2m程度、また、北陸自動車道に隣接しており、白山眺望地点に近い。

設計で配慮した点は、コンクリート部材のひび割れに伴う地下水流入が懸念され、地下駐車場等で実績が多い外面塗膜防水を採用した。また、白山の眺

望に対し、覆蓋（建築物）高さは13m以下、陸屋根構造とし、敷地周辺には築堤を設置し影響を抑えた。

講演2：「今、一人の森林技術士が立ち上がりました。」～変わりゆく地球環境と技術士のとりくみ～

広田 史子氏：広田技術士事務所 所長

(1) 地球温暖化防止における森林の役割と森林技術

森林には、①炭素貯蔵効果、②省エネ効果、③化石燃料代替効果があり、森林が役割を果たすには、①森林の成長量を増やし、吸収するCO₂量を増やす、②吸収されたCO₂を固定し続ける。森林に関する技術には広範囲で多種多様な技術があり、林業経営を専門とするには個人レベル、地域レベル、国家レベル、地球レベルでの課題を理解する必要がある。

【広田講師のご講演】



(2) 業界直近の動きと現場の課題

業界直近の動きとして、来年度から一人1000円の森林環境税が課税され、市町村：県は、8：2で配分される。森林経営管理法があり、経営管理が行われていない森林について、市町村が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐシステムを構築し、担い手を探す。これらは市町村が主体となるが、業務が複雑で多くあり、混乱を招く恐れがある。

また、森林サービス産業（仮称）は、ジャンル毎に森林と関わるライフスタイルを、総合的に提案し取り組みを行うもので、広範囲に亘るものである。

(3) 開業技術士としてどう働くのか

森林環境税では、各自、税を払うのであり、良かったと思われるようにしていかなければならない。また、「経営管理権集積計画」を市町村が策定するわけだが、市町村のかわりにやるくらいの支援をしていくつもりである。

森林サービス産業（仮称）では、森林効果を有効に使うため、森林新ビジネスプログラムを考え、いつでも、どこでも、だれでもできるようにする。また、プロデューサーや専門技術者、レクリエーションリーダー等の人材を育成する。

講演3：「労働環境改善に向けた取り組み」

中村 和雄氏：(株)若狭開発技術センター

(1) 「サルでもわかるマニュアル」の作成

「如何にして手間や時間をかけずにミスのない成果品を作成するか」という課題に対し、出来るだけ簡単なマニュアルを作成する。詳細設計の進め方の流れは、ある一部分を除いて、どんな工種でも一緒。「詳細設計の実施」部分では、「サルでもわかるマニュアル」を活用する。

【中村講師のご講演】



(2) 自分なりのルーティーンを確立

業務内容は多岐に及ぶが大きく区分すると設計である。すべきことやその順序は業務内容が違ってほぼ同じ。できるだけシンプルに考える。

(3) ビッグデータの有効活用

例として、「地形を把握するための福井県土木部所管の砂防基盤図」、「グーグルアースの航空写真」、「ストリートビューの地上写真」、「埋蔵文化財を把握するための福井県 HP 内福井の文化財」等あり。

(4) 使用するソフト等の種類を必要最小限に抑える

以前はワード、エクセル、数量計算ソフトと使い分けていたが、設計業務の報告書は図表や計算が含まれる単なる様式と捉え、エクセルのみに変更する。

(5) 過去のデータの効率的な利用

類次業務をコピーして効率化する。日常的に利用するソフトは CAD とエクセルに絞る。コピーしやすくするため、標準化した図表等を作成する。

(6) ミスの削減

業務の初期段階でミスを生じさせない様に注意を払う。ミスはとにかく早く見つける。コピーは時間短縮できるが、修正漏れが生じやすい。

(7) 業務完了後の手間の削減

業務完了後によく問い合わせを受ける項目は先手をうって対応すれば手間が省ける。後で使用する人の利便性まで考えていけば問い合わせが減る。

(8) 自分以外が行う作業は最優先で相手に依頼

発注者に地元調整を図って欲しい場合等は時間に余裕をもたせられるよう、最優先にする。

■交流会

今度副会長の音頭で乾杯の後、三人の講師を囲んで賑やかな懇親に入った。会員同士、お互いの近況を語り合い、和気あいあいのうちに終了の時間となり、大石副会長の中締めで散会となった。

【交流会風景】



文責：石川 東川 敏

4. 平成 30 年度技術講演会報告

北陸技術士懇談会の第 2 回講演会が、平成 31 年 2 月 9 日（土）、金沢勤労者プラザに会員 65 名の聴講の下に行われました。

橋本会長からの挨拶では、本年 11 月 9 日に北陸技術士懇談会設立 50 周年記念式典を開催する旨報告があり、会員の皆様の協力・参加を呼びかけるお話しがありました。

■講演内容

講演 1：「志賀原子力発電所における安全対策について」～1F 事故以降の取組み～

布谷 雅之氏：北陸電力(株)

志賀原子力発電所技術部長

(1) 志賀原子力発電所の概要

志賀原発は、出力 1,898MW で北陸電力全体の 8,656MW の 22%を占めている。1号機は、1967 年建設計画が発表され、1988 年着工、1993 年営業運転開始、2号機は 1993 年建設及び環境調査申し入れ、1999 年着工、2006 年運転となっている。

1号機は出力 540MW、型式は沸騰水型軽水炉 (BWR) であり、2号機は 1,358MW、沸騰水型軽水炉 (改良型 BWR) である。

【布谷講師のご講演】



(2) 原子力発電所の安全対策

止める、冷やす、閉じ込める、をキーワードに基本思想は、①多重防御の設計、②運転・補修員の資質向上、③厳重な品質管理、入念な点検・検査の 3 つを掲げている。

多重防御の設計とは、①異常発生防止として余裕のある設計や安全側への作動、誤作動防止、②異常の拡大・事故への進展防止として異常の早期発見、自動原子炉停止、③放射性物質異常放出防止として非常用炉心冷却設備、格納容器などの多重防御の設計である。

(3) 志賀原子力発電所における安全対策

1F 事故の問題点やその他の想定を考慮して 6 つの安全対策を実施している。

① 地震対策：基準地震動を従来の 600gal から 1000gal に引き上げ、建屋、クレーン等の設備、配管電路など関係施設の耐震補強を実施した。

② 津波対策：想定津波高さを従来の 5.0m から 7.1m に変更した。自主的に標高 15m の防潮堤・防潮壁を設置し、さらにそれを超えても建屋内への浸水防止のため水密扉に交換した。

③ 電源確保：外部電源は、3 系統 5 回線の送電線

から直接各号機へ供給可能とした。電源の多様化強化策として、既存のディーゼル発電機6台に加え高圧電源車6台、大容量電源車2台を配備した。

④ 冷却水確保：敷地内大坪川ダムからの取水設備機材配備、1万m³の大容量淡水貯水槽を新設した。

⑤ 格納容器除熱機能等の確保：格納容器フィルタ付ベント装置を追加設置し、放射性物質の放出を10⁻⁶まで下げることとした。また大量の放水装置や、4種類の水素爆発防止設備を追加した。

⑥ その他の対策：自然現象である火山、竜巻、外部火災や、建屋内火災への対策を強化する。また緊急時対策棟の設置増強や、防災訓練、緊急時対策訓練など様々な訓練を継続実施している。

講演2：「歴史的な建築・市街地の再生によるまちなか活性化」～金沢の事例報告～

川上 光彦氏：金沢大学名誉教授

(1) 歴史まちづくりの仕組み

歴史まちづくりとは、歴史的な建物や町並みについて、その価値を認識し次の世代へ残す事であり、観光は二の次であると考えている。

歴史まちづくりの関係主体は、①歴史的建築物の所有者・活用者、②行政(国・自治体等)、③市民・住民、④支援グループで、これらが相互に関係し合って活動している。

行政によるまちづくりは、資金・人材面において信頼性、持続性があるが、公益性、平等性が必要である。このため根拠の法制度と年度予算、議会による検討・承認が必要である。また、歴史的建築物はイコール既存不適格建築物であり、各種規制がある。自治体指定の文化財や歴史的建造物は自治体による建築基準法の適用除外条例を制定して、成果を上げている自治体もある。

【川上講師のご講演】



(2) 金沢の歴史まちづくり

金澤町家とは、城下町時代を継承する歴史的建物の総称で、町家タイプ・武士系建物・明治以降の和風建築の3タイプがある。建築基準法施工前の1950年以前に建築されたもので、市の条例等の名称ともなっている。

これらの文化財指定状況は、国2件、県2件、市7件であり、現状維持・復元的保存されている。重要建造物群保存地区は東山ひがし地区など4地区あり、町家は299件である。金澤町家は2017年の調査で6,125件残存しているが、毎年確実に

1.8%程度減失している。このため文化財や指定区域以外の一般家屋に対しても2010年より「金澤町家再生活用事業」を立ち上げ、補助を実施してきたが、さらに建築基準法適用除外に関する条例について2019年10月施行をめどに検討中で、さらなる保全活用を目指すこととしている。

(3) 公民学の役割と連携

町家の改修・活用には、様々な問題・課題がある。人的には高齢・相続・経済的負担等、建物では老朽化・耐震・断熱・面積・形状等、そして法的には不適格建築物の改修・確認申請・用途規制等である。

そのため2016年金澤町家情報館を開館し、常駐職員5名で相談や情報発信などを行なっている。また2005年町家情報バンクを立ち上げ、町家所有者と活用希望者の間を取り持っている。

人材育成については、1996年金沢職人大学校を設立し、金沢匠の技能士等を育成している。

(一社)金澤町家活用推進機構では、改修・活用支援、物件の発掘、流通支援、起業・運営支援や維持管理の受託などを、金沢市やNPO、LLP、金融機関などと連携して実施している。

(4) 防災まちづくりの充実

金澤町家の耐震対応は、一般的な伝統工法の学術的・制度的見直し、建築基準法の適用除外条例と代替処置などと合わせて、金澤町家再生活用事業による補助を活用し、確認申請不要の現状維持または復元的修復時に壁面の増設などにより耐震性能を確保している。

(5) おわりに

金沢市の歴史まちづくりの特徴は、公民学の連携、大学教員・学生の関与、中心市街地の再生・活性化、地域の魅力増・観光・交流人口の増加が挙げられ、これらの金沢型の歴史まちづくりの仕組みを確実に構築していく必要がある。

■交流会

大石副会長の音頭で乾杯の後、二人の講師を囲んで賑やかな懇親に入った。講師への追加質問や会員同士、お互いの近況を語り合い、和気あいあいのうちに終了の時間となり、池田総務委員長の中締めで散会となった。

【交流会風景】



文責：富山 佐渡 正

5. 平成 30 年度合格祝賀会報告

- 1) 日時：平成 31 年 4 月 6 日（土）
- 2) 場所：金沢 ANA クラウンプラザホテル
- 3) 参加人数：二次試験新合格者 13 名、二次試験追加合格者 3 名、一次試験新合格者 12 名
一般技術士 65 名、招待者 2 名、合計：95 名

【全体風景】



【名刺交換風景】



【二次試験合格者紹介】



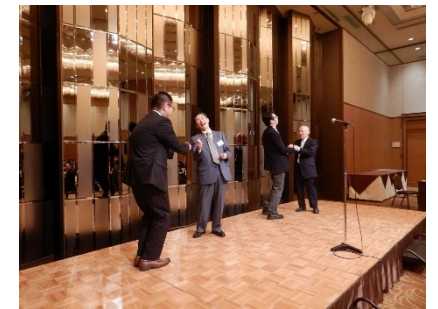
【追加合格者紹介】



【一次試験合格者紹介】



【じゃんけんゲーム】



●平成 30 年度北陸 3 県内合格者名簿（官報及び当会で確認できた方のみ掲載：H31.4.12 現在）

1) 第二次試験合格者（★ 当会に連絡のあった方は県名及び勤務先掲載）：合格者総数：53 名（石川会場：47 名）

県	名前	部門	所属先	県	名前	部門	所属先	県	名前	部門	所属先
石川	上河原 敦	機械	中村留精密工業㈱	富山	芦江 伸之	金属	サンエツ金属㈱		草谷 恭行	建設	
石川	徳田 真一郎	電気電子	㈱柿本商会	富山	橋本 徹	建設	北電技術コンサルタント㈱		福濱 方哉	建設	
石川	小澤 一生	建設	㈱日本海コンサルタント	富山	加藤 和宏	建設	大鉄工業㈱ 北陸支店		田子 京子	建設	
石川	十二 雅和	建設	石川県奥能登土木総合事務所	富山	伊藤 恒治	建設	㈱安藤・間		宝島 由治	建設	
石川	定免 英樹	建設	石川県道路建設課	富山	明石 秀司	環境	日本海環境サービス㈱		床並 英亮	建設	
石川	吐山 浩	建設	㈱国土開発センター	福井	橋本 泰英	建設	福井県小浜土木事務所		田中 伸和	建設	
石川	林 雅文	建設	日特建設㈱ 金沢営業所	福井	池内 佑樹	建設	福井県庁		前田 雄生	上下水道	
石川	大谷 祐之	上下水道	金沢市企業局	福井	井向 一好	上下水道	㈱東洋設計 福井支店		松本 匡史	上下水道	
石川	竹内 俊雄	上下水道	㈱東洋設計	福井	竹内 義博	農業			田崎 浩章	上下水道	
石川	辰己 綾一	農業	㈱国土開発センター	福井	杉原 忠弘	建設	(公財) 福井県建設技術公社		須崎 裕照	上下水道	
石川	土谷 功	農業	㈱国土開発センター	福井	竹内 仁一	建設	㈱サンケン試験コンサルタント		喜多王 章	衛生工学	
石川	平野 博範	農業	㈱国土開発センター		斎藤 太郎	機械			岩崎 誠二	衛生工学	
石川	石田 洋二	森林	石川県森林総合センター 林業課		砂場 学	機械			一条 克也	森林	
石川	新谷 彰	環境			舟瀬 論志	電気電子			出口 幸一	経営工学	
石川	山根 正義	建設	石川県庁		植田 修	繊維			山東 徹生	経営工学	
石川	佃田 智昭	建設	石川県庁		武井 秀浩	建設			吉岡 信也	応用理学	
石川	山 道明	建設	石川県中能登土木総合事務所		樹倉 洋人	建設			加藤 貴代	総監	
富山	伊東 一良	機械	YKK㈱		安川 哲二	建設					

2) 第一次試験合格者（★ 当会に連絡のあった方のみ：順不同）：石川試験会場での合格者総数：134 名

県	名前	部門	所属先	県	名前	部門	所属先	県	名前	部門	所属先
石川	井関 貴吉	建設	清水建設㈱	富山	梶田 駿介	電気電子	西日本旅客鉄道㈱ 金沢支社	福井	小川 裕三	情報工学	三谷産業㈱
石川	浦 大輔	電気電子	北陸電力㈱ 石川送配電支社	富山	紙 雄規	建設	㈱環境総合テクノス	福井	北村 友志	建設	坂川建設㈱
石川	岡野 尚之	建設	㈱アメニテック	富山	高松 恵一	建設		福井	児玉 優一	建設	
石川	荻原 浩希	建設		富山	寺崎 蓮	建設		福井	酒井 哲也	建設	㈱日本ピーエス 北陸支店
石川	紺谷 匠	建設	㈱地域みらい	富山	前田 将平	電気電子	北陸電力㈱	福井	砂村 隆志	農業	
石川	酒井 利明	電気電子	富士電機㈱	富山	山下 恭司	電気電子	パソニックタワーエスセミコンダクター㈱	福井	谷口 晴朗	建設	大樹測量設計㈱
石川	洲崎 景介	電気電子	北陸電力㈱	富山	山田 明広	化学	金剛化学㈱	福井	那須 勝幸	建設	(一社) 近畿建設協会
石川	武内 沙月	建設	㈱日本海コンサルタント	富山	山本 朗央	電気電子	㈱富山村田製作所	福井	長谷川 ゆりの	建設	㈱サンワコン
石川	橋場 正明	建設	㈱ホクエツ北陸 小松工場	富山	四津 佳伸	環境	富山グリーンフードリサイクル㈱	福井	畑 俊貴央	建設	福井工業高等専門学校
石川	林 英至	経営工学	TDK ラムダ㈱	富山	渡部 友太	化学	三菱ケミカル㈱ 富山事業所	福井	真木 秀憲	上下水道	越前市役所
石川	前田 英己	建設	鉄道・運輸機構 大阪支社	福井	五十嵐 友哉	建設	㈱サンワコン	福井	吉川 英治	経営工学	
石川	山本 裕馬	環境	金沢市役所	福井	乾 (岩永) 義明	繊維	日本ダム㈱				
富山	池田 稔	電気電子	日本海発電㈱	福井	榎波 智仁	建設	福井県小浜土木事務所				

6. 令和元年度（2019年度）役員名簿

役職	名前	県名	部門			所属先	役職
会長	橋本 栄治	福井	建設			前田建設工業(株)	関西支店福井営業所・顧問
副会長	大石 守仁	富山	建設			(株)寺島コンサルタント	参与
副会長	今度 充之	石川	建設	総監		東京コンサルタンツ(株)	取締役北陸支社長
理事(総務)	池田 保裕	福井	建設	総監		(株)ワカサコンサル	福井支店長
理事(総務)	岡村 興一	石川	機械	総監		岡村技術士事務所	所長
理事(総務)	辻 隆治	福井	建設	総監		(株)サンワコン	地域計画部長
理事(総務)	初田 浩也	富山	建設			新和設計(株)	代表取締役
理事(事業) (事務局長)	埴 正浩	石川	建設	総監		(株)日本海コンサルタント	専務取締役
理事(事業)	大江 正道	富山	建設	総監		北電技術コンサルタント(株)	第二土木部 統括部長代理
理事(事業)	佐渡 正	富山	建設			佐渡技術士事務所	所長
理事(事業)	為沢 剛	福井	農業			(株)帝国コンサルタント	技術顧問
理事(事業)	西出 俊亮	福井	建設	総監		福井県庁	土木部 技幹
理事(事業)	東川 敏	石川	建設			清水建設(株)北陸支店	顧問
理事(事業)	森下 正	富山	機械			川田工業(株)	北陸事業部・主幹
理事(事業)	山崎 裕生	福井	農業			丸一調査設計(株)	
理事(業務)	竹内 勝信	富山	建設	総監		(株)アーキジオ	取締役常務
理事(業務)	大深 伸尚	石川	建設			アルスコンサルタンツ(株)	会長
理事(業務)	川崎 善徳	福井	農業			福井県嶺南振興局	二州農林部県民サービス室長
理事(業務)	藤田 久之	富山	建設			北陸電力(株)	土木部 部長
理事(業務)	野口 将志	石川	建設			(株)ホクコク地水	
理事(青年)	平澤 由佳	石川	農業			(株)国土開発センター	設計事業部設計3部担当部長
理事(青年)	佐々井 忍	富山	建設			共和クレーン(有)	代表取締役
理事(青年)	彗田 照代	福井	環境	建設	農業	(株)北陸環境科学研究所	環境科学部主任研究員
理事(青年)	辰橋 浩二	石川	建設	環境		(株)国土開発センター	環境事業部環境1部担当部長
監事	加藤 充哉	石川	上下	環境	総監	加藤技術士事務所	所長
監事	坂井 正明	福井	上下			環水工房(有)	代表取締役
監事	庄田 浩二	富山	建設	総監		(株)ライテック	技術本部顧問
相談役	津田 直昭	福井	上下	衛生		(株)中村正建設	
相談役	有澤 良一	富山	建設			(株)アリサワ技術	代表取締役社長
相談役	屋敷 弘	石川	建設	農業	総監	屋敷技術士事務所	所長

注：理事（ ）は所属委員会を示す。（青年）は「女性・青年委員会」の略。ハッチは委員長。

7. 令和元年度（2019年度）行事予定

開催予定月日	事業内容
2019年6月8日	2019年度総会・特別講演会（金沢勤労者プラザ）
2019年6月30日	拡大青年技術士会議（福井）（6月30日～7月1日予定）
2019年7月14,15日	技術士第二次試験（地場産業センター）14日：総監部門、15日：総監以外部門
2019年8月10日	第1回役員会
2019年10月6日	第46回 技術士全国大会（徳島）（10月5日～8日）
2019年10月13日	技術士第一次試験（金沢星稜大学）
2019年11月9日	北陸技術士懇談会50周年記念式典（KKRホテル金沢）
2020年2月8日	技術講演会（金沢勤労者プラザ）
2020年4月4日	第一次試験合格者（JABEE含む）ガイダンス（金沢勤労者プラザ）
2020年4月4日	第2回役員会、2019年度新技術士合格祝賀会（ANAクラウンプラザホテル）

★★ 編集後記 ★★

今年度の石川会場技術士第二次試験合格者は、全国と同様の合格率ではありましたが、昨年に対して約半分、特に建設部門の合格率が6%で最悪でした。2019年度から第二次試験においては「五択問題」がなくなり、全問「筆記問題」となります。このことにも配慮して勉強していただくをお願いします。

今後も北陸の技術士がますます増え、会員の皆様方に置かれましては、相互交流・能力向上・社会貢献の場として、本会の発展にも寄与していただければ幸いです。

なお、本会は本年8月には設立50周年となり、記念事業を開催します。皆様のご参加を期待しています。

北陸技術士懇談会 HP：<http://www.hokugikon.org/> 過去の行事資料や写真が掲載されています。